

令和4年度

事業報告書

公益財団法人 京都文化財団

目 次

令和4年度事業報告書

○ 処務の概要	
1. 評議員及び役員に関する事項	1
2. 組織に関する事項	
○ 事業の状況	
I. 財団本部事務局	3
1. 本部事務局	
2. 文化財保護基金の事業	
II. 京都府京都文化博物館	4
1. 管理運営業務	
2. 事業実施状況	
III. 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール	15
1. 管理運営業務	
2. 事業実施状況	
3. 美術工芸振興基金事業	
IV. 京都府立堂本印象美術館	25
1. 管理運営業務	
2. 事業実施状況	

処務の概要

1 評議員及び役員に関する事項

評議員及び役員名簿

令和5年3月31日現在

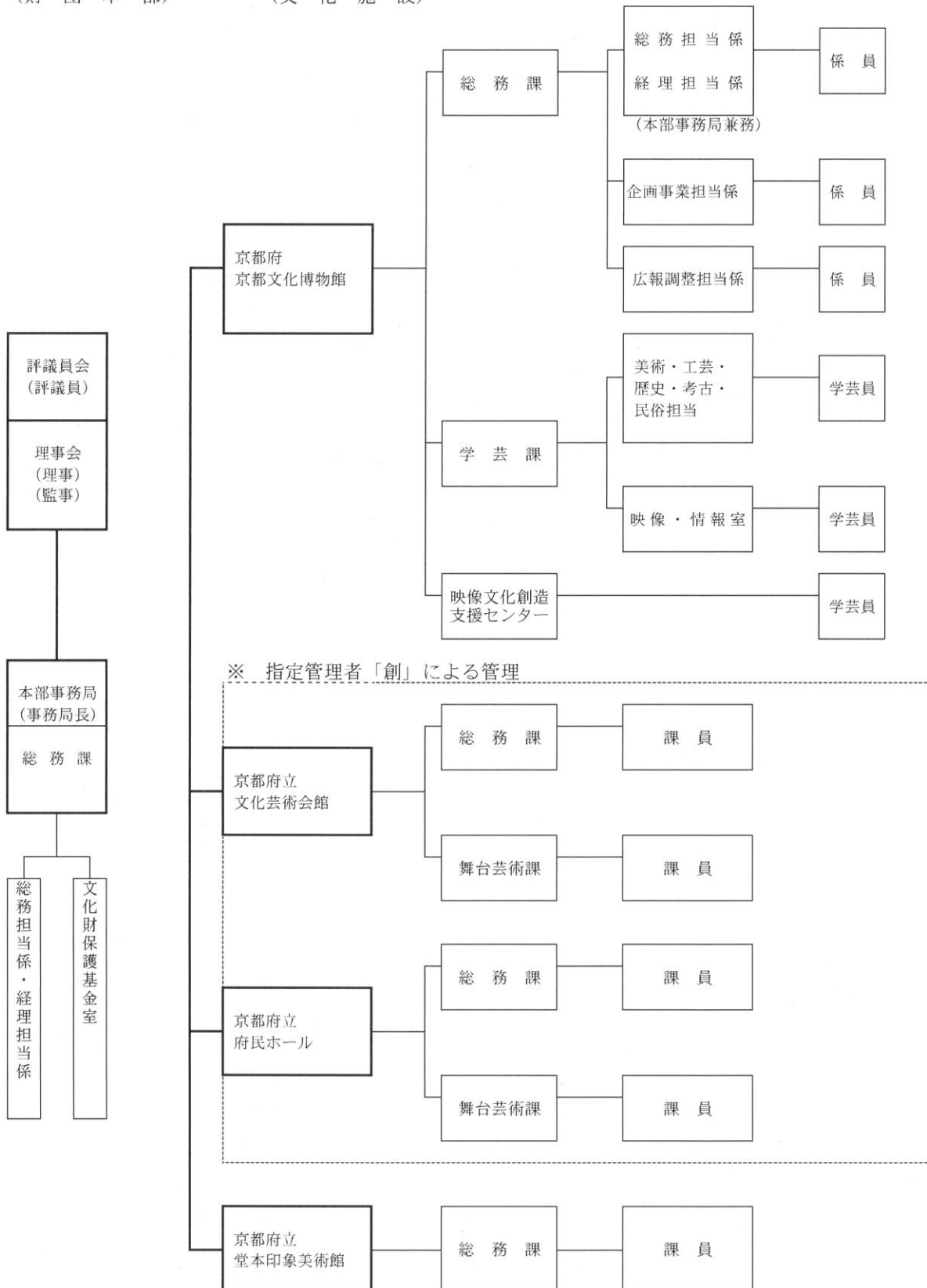
職名	氏名	摘要	最初の就任年月日	
顧問	西脇隆俊	京都府知事	平 30. 6. 5	
	千玄室	前京都文化財団副理事長 前茶道裏千家家元	平 23. 6. 16	
評議員	赤松玉女	公立大学法人京都市立芸術大学理事長・学長	令 元. 6. 27	
	池坊雅史	華道家元池坊総務所事務総長	令 元. 6. 27	
	上原雅明	京都府教育委員会教育長職務代理者	令 元. 6. 27	
	上村淳之	日本画家	平 23. 5. 17	
	梅原ひまり	ヴァイオリニスト	平 27. 6. 23	
	大西祐資	京都新聞社代表取締役社長・主筆	令 4. 11. 23	
	杭迫柏樹	書家	平 27. 6. 23	
	兒島宏尚	京都商工会議所専務理事	平 30. 6. 20	
	金剛永謹	金剛流宗家	平 23. 5. 17	
	坂口博翁	一般財団法人京都仏教会常務理事 真言宗大覚寺派別格本山覚勝院名誉住職	令 5. 1. 31	
	佐々木正子	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、学校法人大覚寺学園理事	令 元. 6. 27	
	潮江宏三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授	令 元. 6. 27	
	杉本節子	料理研究家、公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会常務理事	令 元. 6. 27	
	田中恆清	石清水八幡宮宮司	平 23. 5. 17	
	名和修	公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長	平 23. 5. 17	
	古川博規	京都府副知事	令 2. 10. 26	
山極壽一	総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長	令 3. 3. 31		
冷泉為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長	平 23. 5. 17		
役員	理事長 (代表理事)	山田啓二	京都文化博物館館長、前京都府知事	平 30. 6. 20
	常務理事 (業務執行理事)	金谷宗子	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長	令 4. 5. 24
	理事	植村幸弘	京都中央信用金庫常務理事	令 4. 6. 28
	"	奥野美奈子	株式会社京都銀行取締役	令 3. 11. 12
	"	金田章裕	京都府立京都学・歴彩館長、京都府公立大学法人理事長	平 26. 6. 27
	"	高階絵里加	京都大学大学院地球環境学堂教授 京都大学人文科学研究所教授	平 23. 3. 22
	"	並木誠士	京都工芸繊維大学特定教授・美術工芸資料館館長	平 24. 6. 26
	"	深尾憲一	弁護士	平 23. 3. 22
	"	吉田忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長	平 23. 3. 22
監事	光田周史	公認会計士	平 23. 3. 22	
	中村健児	一般社団法人京都銀行協会専務理事	平 29. 3. 23	
(現在数)				
顧問 2名		評議員 18名	理事 9名	監事 2名

2 組織に関する事項

令和5年3月31日現在

(財 団 本 部)

(文 化 施 設)



I 財団本部事務局

1 本部事務局

公益性が高く、かつガバナンスを強化した法人組織を確立するとともに、公益財団法人としての事業に取り組んだ。

財団本部では文化博物館を含む4つの文化施設の事業活動が、それぞれ設立趣旨に則して円滑に推進できるように努めるとともに、併せて文化財保護基金による資金の貸付け及び文化財の保存と啓発に関する事業の推進に努めた。

2 文化財保護基金の事業

(1) 文化財保護資金の貸付け

令和4年度の新規貸付はなかった。

① 貸付金の償還状況

(単位：千円)

貸付年度	貸付件数	貸付額	令和4年度償還額			償還済額 (元金)	未償還額 (元金)	
			件数	元金	利子			計
②⑤	8	95,000	7	9,807	213	10,020	77,272	7,921
②⑥	3	19,400	2	1,936	68	2,004	13,757	3,707
②⑦	3	28,000	1	1,573	77	1,650	21,592	4,835
②⑧	4	41,000	3	3,900	226	4,126	19,457	16,968
			(1)	(674)	(33)	(707)		
②⑨	2	21,000	2	10,836	171	11,007	6,751	3,413
③⑩	2	22,000	1	1,627	142	1,769	10,196	10,178
①	0	0	0	0	0	0	0	0
②	3	14,000	3	2,681	108	2,789	540	10,779
③	2	20,000	2	2,148	170	2,318	0	17,852
④	0	0	0	0	0	0	0	0
累計	27	260,400	21	34,508	1,175	35,683	149,565	75,653
			(1)	(674)	(33)	(707)		

*平成28年度貸付分のうち1件、償還遅滞(令和5年3月31日現在)。()内は外数。

(2) 文化財保護の啓発普及

① 啓発普及誌「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート第36号」を発行し、文化財保護の啓発に努めた。今年度は2,000部印刷した。(令和5年3月発行)

② 文化財保護のよろず相談

指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象とした「文化財保護のよろず相談」事業は、これまでの対面方式の開催に変え、インターネット上で随時相談を受け付けることとし、相談窓口を文化博物館ホームページ上に開設した。(令和4年11月25日)

(3) 文化財保護関係の関係機関及び諸団体との連携の強化

文化財保護関係機関で構成する京都文化財防災対策連絡会との連携により、事業の推進や啓発活動の強化に努めた。

(4) 福寿園・お茶の文化賞事業

① 第1回福寿園・お茶の文化賞の授与

お茶の文化賞選考委員会(令和4年4月12日)による選考を経て、第1回お茶の文化賞を授与した。

授賞式：令和4年6月12日

大賞受賞者：大森正司氏(大妻女子大学名誉教授)

奨励賞受賞者：京都府立木津高等学校

② 第2回お茶の文化賞選考委員会

令和5年度受賞者を選定する選考委員会を開催した。(令和4年12月16日)

Ⅱ 京都府京都文化博物館

1 管理運営業務

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、特別展が好調であったため、全体の入館者数は持ち直した（コロナ前の令和元年度比では7%減）。一方で、高齢者の入館者が戻っていない影響が見られ、貸展示室、ろうじ店舗利用者の回復には至っていない。運営にあたっては、感染予防対策を引き続き徹底しながら、チケットレスの導入等利用者ニーズに応え、質の高い展示を実現した。

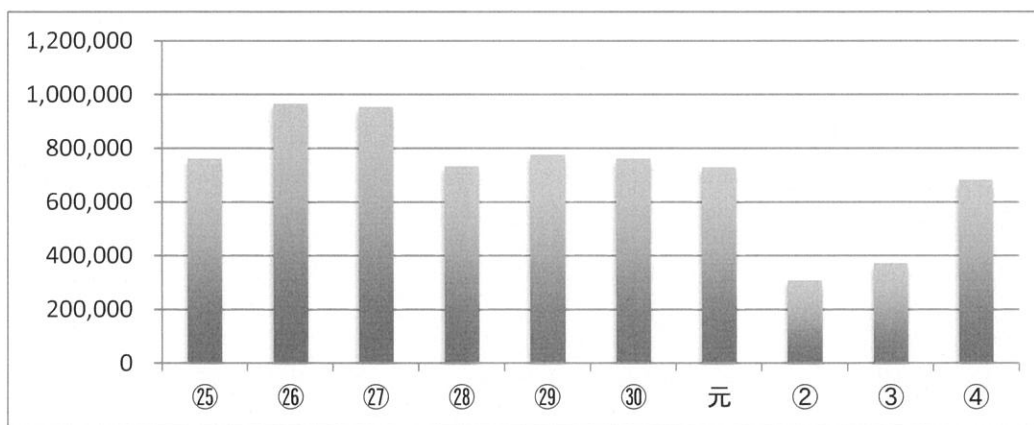
また、熱源設備（空調）等改修工事のため、3回にわたり臨時に休館した。

(1) 令和4年度利用者数状況

区 分	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
来館者数	416,867	179,998	84,853	681,718

(参考) 過去10年間の入館者数実績

年 度	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
⑮	357,368	253,597	149,589	760,554
⑯	493,728	307,449	163,568	964,745
⑰	456,529	315,571	181,139	953,239
⑱	283,487	291,152	157,688	732,327
⑲	286,370	331,017	158,182	775,569
⑳	270,205	343,129	147,873	761,207
元	310,813	274,299	143,215	728,327
②	129,425	113,333	64,665	307,423
③	120,554	185,285	64,195	370,034
④	416,867	179,998	84,853	681,718



※熱源設備（空調）等改修工事による臨時休館

1回目：9/15～9/22

2回目：12/25～1/6 ※年末年始休館を含む

3回目：2/6～2/14

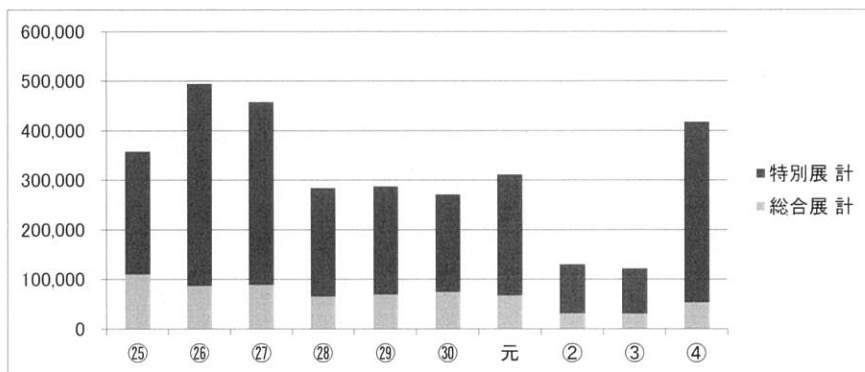
(2) 入館者数

(単位：人)

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
令4年4月	1,176	1,398	2,574	22,241	3,401	25,642	23,417	4,799	28,216
令4年5月	1,794	1,978	3,772	75,394	7,364	82,758	77,188	9,342	86,530
令4年6月	2,021	2,683	4,704	59,295	6,220	65,515	61,316	8,903	70,219
令4年7月	3,073	2,817	5,890	30,043	1,718	31,761	33,116	4,535	37,651
令4年8月	1,728	1,965	3,693	38,908	2,452	41,360	40,636	4,417	45,053
令4年9月	1,739	2,331	4,070	23,199	2,075	25,274	24,938	4,406	29,344
令4年10月	1,252	3,483	4,735	23,100	3,504	26,604	24,352	6,987	31,339
令4年11月	1,330	3,799	5,129	25,189	4,139	29,328	26,519	7,938	34,457
令4年12月	1,592	2,870	4,462	0	0	0	1,592	2,870	4,462
令5年1月	2,149	1,921	4,070	7,678	1,191	8,869	9,827	3,112	12,939
令5年2月	2,370	2,082	4,452	9,001	1,736	10,737	11,371	3,818	15,189
令5年3月	3,136	2,021	5,157	14,335	1,976	16,311	17,471	3,997	21,468
計	23,360	29,348	52,708	328,383	35,776	364,159	351,743	65,124	416,867

(参考) 過去10年間の入館者数実績

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
㉕	43,159	66,879	110,038	163,676	83,654	247,330	206,835	150,533	357,368
㉖	29,719	57,068	86,787	291,681	115,260	406,941	321,400	172,328	493,728
㉗	25,909	62,651	88,560	253,770	114,199	367,969	279,679	176,850	456,529
㉘	29,078	35,962	65,040	122,616	95,831	218,447	151,694	131,793	283,487
㉙	33,798	35,422	69,220	114,518	102,632	217,150	148,316	138,054	286,370
㉚	33,897	40,316	74,213	90,655	105,337	195,992	124,552	145,653	270,205
元	30,283	36,497	66,780	144,109	99,924	244,033	174,392	136,421	310,813
②	12,051	18,513	30,564	66,057	32,804	98,861	78,108	51,317	129,425
③	11,747	18,698	30,445	71,402	18,707	90,109	83,149	37,405	120,554
④	23,360	29,348	52,708	328,383	35,776	364,159	351,743	65,124	416,867



(3)-1 特別展の状況

(単位:人)

展覧会名	共催者等	開催期間(日数)	入館者数	1日平均
挑む浮世絵 国芳から芳年へ	京都府 京都文化博物館 関西テレビ	2月26日(土)～4月10日(日) (38日間/9日間【4/1～10迄】)	【4/1～10迄】 8,171人	【4/1～10迄】 688人
鈴木敏夫とジブリ展	京都府 京都文化博物館 読売テレビ 読売新聞社 キョードー関西	4月23日(土)～6月19日(日) (52日間)	165,744人	3,187人
連載完結記念 ゴールデンカムイ展	京都府 京都文化博物館 読売新聞社	7月9日(土)～9月11日(日) (56日間)	98,395人	1,757人
新選組展2022 史料から辿る足跡	京都府 京都文化博物館 読売新聞社 NHK京都放送局	10月1日(土)～11月27日(日) (50日間)	55,932人	1,118人
Kyoto Art for Tomorrow 2023 —京都府新鋭選抜展—	京都府 京都文化博物館	1月21日(土)～2月5日(日) (14日間)	15,176人	1,084人
知の大冒険 —東洋文庫 名品の煌めき—	京都府 京都文化博物館 読売新聞社	2月21日(火)～4月9日(日) (42日間/34日間【3/31迄】)	【3/31迄】 7,902人	【3/31迄】 232人
合計(5回)		開催日数(215日間)	351,320人	2,291人

(3)-2 企画展

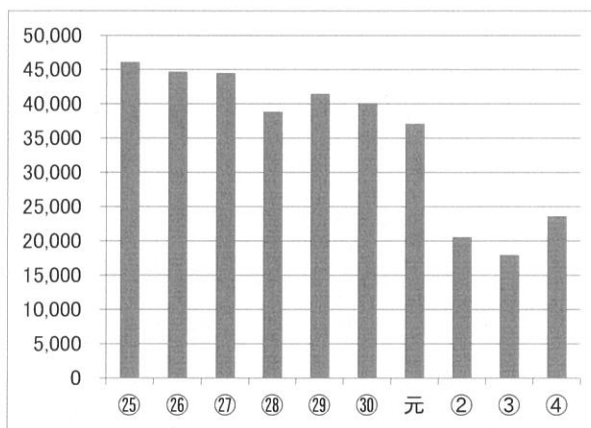
展覧会名	共催者等	開催期間(日数)	入館者数	1日平均
原派、ここに在り—京の典雅—	京都府 京都文化博物館	2月18日(土)～4月9日(日) (44日間/36日間【3/31迄】)	【3/31迄】 12,839人	【3/31迄】 356人

AFF

basement #01 五劫のすりきれ	京都府 京都文化博物館	9月24日(土)～10月10日(月・祝) (15日間)	361人	24人
basement #02 藤 浩志展 「龍の存在を無視できない」	京都府 京都文化博物館	11月29日(火)～12月11日(日) (12日間)	1,347人	113人

(4) フィルムシアターの利用状況

	利用者数
令和 4年 4月	1,769
" 5	2,189
" 6	2,699
" 7	2,525
" 8	1,969
" 9	1,701
" 10	2,246
" 11	2,538
" 12	1,398
令和 5年 1月	1,391
" 2	1,229
" 3	1,899
計	23,553
月平均利用者数	1,963



(参考) 過去10年間の利用者実績

⑫	46,033
⑬	44,622
⑭	44,442
⑮	38,779
⑯	41,406
⑰	40,058
元	37,069
⑱	20,506
⑲	17,901
⑳	23,553

(5) 展示室（貸室）の利用状況

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数
5階展示室	一般(収益)	91日	50%	18,074人
	作家(公益)	109日	—	27,609人
6階展示室	一般(収益)	116日	45%	13,416人
	作家(公益)	4日	—	493人
合計		—	—	59,592人

前年度入場者数
12,857人
29,632人
7,762人
1,456人
51,707人

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数
別館ホール	貸ホール(収益)	165日	—	86,184人
	主催	27日	—	34,222人
合計		192日	71%	120,406人

前年度入場者数
115,180人
18,398人
133,578人

(6) ろうじ店舗等利用状況

区 分	利用人数	月平均	前年度利用者数
物販・飲食店(9店舗)	84,853人	7,071人	64,195人

2 事業実施状況

(1) 総合展示事業 (2 階)

① 「京の歴史」ゾーン

平安・鎌倉・室町・江戸の各時代を 150 インチ×4 画面の大迫力で再現したビジュアル「絵巻回廊」のほか、最新技術による映像資料と「ほんまもん」の実物資料で京都の歴史を紹介。

② 「京の至宝と文化」

開催期間	展覧会名
4月2日～5月29日	「鎌倉武士の物語と京都」
6月4日～7月31日	「没後 70 年 案本一洋 ～優美なる日本画の世界～」
8月6日～10月2日	「ドナルド・キーン 生誕 100 年記念 ドナルド・キーンと画家・井澤元一」
8月13日～10月10日	「池大雅と玉瀾」
10月8日～12月4日	「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 12 宮廷行事と宸翰和歌懐紙」
10月8日～12月4日	「京都洋画新人展 1967-1975」
12月10日～2023年1月29日	「京都府内の学校所在資料展 2」
2月4日～4月2日	「続・戦後京都の「色」はアメリカにあった！」

③ 「京のまつり」

6月11日～8月7日	「祇園祭 ～鷹山復興記念展～」
10月15日～12月11日	「ある画家による京都 西川純の素描」
12月17日～2023年2月5日	「信仰の美」
2月11日～4月9日	「雛人形名品展 2023」

(2) 総合展示事業 (3 階・映像)

火曜日～日曜日 午後1時30分～、午後6時30分～（土、日、祝は午後1時30分～、午後5時～）

開催期間	タイトル・特集名
4月1日～4月22日	ジャパニーズ・ロード・ムービー 旅する時代劇
4月23日～6月19日	【鈴木敏夫とジブリ展 関連映画上映】みんな映画が好きだった、僕も。
6月21日～7月18日	EU フィルムデイズ 2022 映画でつながるヨーロッパ
7月20日～8月3日	祇園祭と京の文化・伝統工芸
8月5日～8月7日	第 28 回 京都国際子ども映画祭
8月9日～9月11日	【没後 10 年】山田五十鈴と淡島千景を偲ぶ
8月14日	大野松雄×谷川俊太郎『聞いてきた音これから聞く音』対談ムービー
9月2日～9月4日	【映像学会関西支部夏期映画ゼミナール 2022 年】 特集・東映京都撮影所一スターシステムから実録路線をこえてー
9月13日～9月30日	【生誕 120 年記念】五所平之助監督初期作品集
10月1日～10月28日	【新選組展 2022 記念上映】映画に見る幕末京都の青春群像
10月22日	第 14 回京都ヒストリカ国際映画祭プレイベント ～中国アニメ映画への招待～
10月29日～11月6日	第 14 回京都ヒストリカ国際映画祭
11月8日～12月1日	【生誕 110 年+没後 10 年】映画監督新藤兼人特集

11月19日～11月27日	第44回ぴあフィルムフェスティバル in 京都
12月2日～12月4日	京まちなか映画祭 2022
12月6日～12月22日	忠臣蔵と義士外伝特集
12月18日	京都建築映像祭 2022
12月23日	EU フィルムデーズ 2022 特別上映
12月24日～12月25日	UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL サイケデリックと越境の旅
2023年1月7日～2月2日	唄う映画～現代劇篇・時代劇篇
1月20日	日本映画テレビ技術協会共催「映像技術賞受賞作品を見る会」
2月3日～2月5日	第25回 京都国際学生映画祭
2月15日～2月17日	戦前科学映画特集
2月15日	文化庁 ndjc 若手映画作家育成プロジェクト 2022 年度合評上映会
2月18日～3月1日	アカデミー・フィルム・アーカイブ映画コレクション
3月2日～3月12日	【磁気テープの映画遺産を救え！デジタルファイル化プロジェクト】 『わが映画人生』特別上映会 ー映画監督は語るー
3月14日	唄う映画特集大雪休止代替上映
3月15日～3月31日	映画にみる戦国時代 - 戦国の世を生き抜く

総合展示（映像）関連事業（外部共催上映等）

開催日	タイトル	講演者等
6月21日～7月18日	EU フィルムデーズ in 京都 共催：欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関	EU 代表部が加盟各国から集めた映画作品『言葉と行動』『ホーホヴァルト村のマリオ』等 28 作品の上映。 鑑賞者数：2,999 人（120 人／1 日）
8月5日～8月7日	第28回京都国際子ども映画祭 共催：キンダーフィルムフェストきょうと	ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に子ども映画を集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『コメディ・クイーン』『ヒマラヤの通学路』等 12 作品を上映。 鑑賞者数：387 人（129 人／1 日）
8月14日	大野松雄 × 谷川俊太郎『聞いてきた音これから聞く音』対談ムービー上映会 共催：ブランニューデイ	『聞いてきた音これから聞く音』を上映。 鑑賞者数：28 人（28 人／1 日）
10月22日	京都ヒストリカ国際映画祭イベント～中国アニメ映画への招待～ 共催：京都ヒストリカ映画祭実行委員会、立命館大学	『白蛇：縁起』『羅小黑戦記 ぼくが選ぶ未来』の上映と氷川竜介氏の講演。 鑑賞者数：101 人（101 人／1 日）
10月29日～11月6日	第14回京都ヒストリカ国際映画祭 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会（京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学） 共催：イタリア文化会館大阪、KYOTO CMEX 実行委員会	『鬼平外伝 正月四日の客』『ベネデッタ』『アポロンの地獄』『無限の住人』『峠 最後のサムライ』等 26 作品の上映と三池崇史監督、小泉堯史監督、中村梅雀氏、安藤さくら氏、柄本佑氏らのトークとオンライン上映。 鑑賞者数：1,186 人（148 人／1 日）＋オンライン 1,957 人

11月3日～11月9日	第15回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2022) 主催: 京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 共催: 第33回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会	世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ。公募の結果、166名(アメリカ、スイス、日本を含む36か国)の応募から時代劇製作に18名が参加。東映、松竹の京都撮影所で宮西慶二郎、大西悠嗣ら監修の時代劇製作ワークショップを開催。 参加人数: 18名
11月3日～11月9日	京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション 主催: 京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 共催: 第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会	『ピーター・チョウ氏 (Online)、サビーネ・ネイロッティ氏 (Online)、東映剣会、三池崇史氏、前田直樹氏、石原渉氏、永島聡氏、市山尚三氏、荒木啓子氏、椎井友紀子氏、相原裕美氏、マイケル・シンガー氏、小泉堯史氏による講演。 鑑賞者数: 698名 (100人/1日)
11月27日～28日	第44回びあフィルム・フェスティバル (PFF) 主催: 一般社団法人PFF (びあフィルムフェスティバル)	『ポラン』『the Memory Lane』『デカメロン』『カンタベリー物語』『水槽』『暮れる』『アラビアンナイト』『アクト』『幽霊がいる家』等24作品の上映と受賞監督、ピーター・バラカン氏のトーク。 鑑賞者数: 834人 (104人/1日)
12月2日～12月4日	京まちなか映画祭 2022 in 京都文化博物館 主催: 京まちなか映画祭実行委員会	『残菊物語』『お嬢さん乾杯』『他人の顔』『魚の目』『喜劇 駅前旅館』『KAFE 工船にオクノ修がやってきた日』上映とバンヒロシ氏らのトーク。 鑑賞者数: 216人 (72人/1日)
12月18日	京都建築映像祭 2022 共催: 京都建築映像祭 2022 実行委員会	『語る建築家』『Playback』『コロッサル・ユース』の上映。 鑑賞者数: 92人 (92人/1日)
12月23日	EU フィルムデーズ 2022 特別上映 共催: 欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関	『My Thoughts are Silent』の上映。 鑑賞者数: 55人 (55人/1日)
12月24日～12月25日	UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL '22 サイケデリックと越境の旅 共催: アンダーグラウンド映画祭実行委員会	『Four』『Creation』『Head Games』『Between the Frame』『ザ・タージ・マハル・トラベラーズ～「旅」について』等18作品の上映と細馬宏通氏らのトーク。 鑑賞者数: 178人 (89人/1日)
2023年1月20日	日本映画テレビ技術協会京都支部・大阪支部「映像技術賞受賞作品を見る会」 共催: 日本映画テレビ技術協会	『孤狼の血 Level2』『がちゃこん～近江鉄道の情景～』『MBS ドキュメンタリー映像'21「いつか帰れる日まで」～異国で願うミャンマーの民主化～』の上映と加藤航平氏、杉森賢治氏、岡部雄太氏によるトーク。 鑑賞者数: 174人 (174人/1日)
2月3日～2月5日	第25回京都国際学生映画祭 共催: 公益財団法人大学コンソーシアム京都	『The Falling Angels』『Other Half』『The Seine's Tears』『サカナ島胃袋三腸目』等24作品の上映と入選監督トーク。

		鑑賞者数：263人（88人／1日）
2月15日	文化庁 ndjc 若手映画作家育成プロジェクト 2022年度合評上映会 共催：特定非営利活動法人映像産業振興機構	『うつぶせのまま踊りたい』『ラ・マヒ』『サボテンと海底』『デブリーズ』の上映と監督のトーク 鑑賞者数：48人（48人／1日）
2月18日～3月1日	アカデミー・フィルム・アーカイブ映画コレクション 共催：アカデミー・フィルム・アーカイブ、国立映画アーカイブ	『アンニー可愛や』『きゅうり畑のかかし』『荒馬と女』『予備選挙』『ブラック・アンド・タン』『日本の映画作り』『AFA所蔵ホームムービー集』等13作品の上映と玉田健太氏、具珉炯氏のトーク。 鑑賞者数：821人（82人／1日）
3月2日～3月12日	『わが映画人生』特別上映会 ―映画監督は語る― 共催：国立映画アーカイブ	『わが映画人生 黒澤明監督』『わが映画人生 マキノ雅裕監督』『わが映画人生 犬塚稔監督』『わが映画人生 田中徳三監督』『わが映画人生 澤島忠監督』等10作品の上映と富田美香氏のトーク。 鑑賞者数：701人（70人／1日）

（3）特別展示関連事業

- ①『鈴木敏夫とジブリ展』 関連事業なし
②『連載完結記念 ゴールデンカムイ展』

内容	開催日	タイトル
イベント	7月15日、7月29日、8月12日、8月26日、9月9日（計5日）	「脱獄王 白石由竹フライデーナイト」
	7月22日、8月5日、8月19日、9月2日（計4日）	「鶴見中尉フライデー」
	会期中の開館日	来場者特典「描きおろしミニ色紙」プレゼント

③『新撰組展 2022』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	10月2日	「政治集団としての新撰組を考える」	昭和女子大学専任講師 三野行徳	92人
	10月8日	「幕末京都の社会史 行幸・大火・神泉苑町」	当館学芸員 西山剛	100人
	10月15日	「近藤勇の二人の師-清河八郎・芹澤鴨」	京都女子大学非常勤講師 中村武生	97人
歴史散策	11月5日	「新撰組ゆかりの地めぐり」	当館学芸員 西山剛、佐藤稜介	18人

④『Kyoto Art for Tomorrow 2023 -京都府新鋭選抜展-』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
イベント	1月21日	「藤井俊治氏によるアーティスト・トーク」	特別展示作家 藤井俊治	32人
ギャラリートーク	1月28日、2月4日（計2回）		出品作家	53人 82人

⑤『知の大冒険 -東洋文庫 名品の煌めき-』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	3月21日	「知の大冒険攻略ガイド-名品で旅する東洋世界-」	東洋文庫学芸課長 岡崎礼奈 東洋文庫学芸員 篠木由喜	100人
ワークショップ	2月25日	象形文字・トッパ文字スタンプをつくろう!	学習普及連携室員 森田直子 村野正景	8人
ギャラリートーク	2月23日、3月14日(計2回)		当館学芸員 村野正景	81人 35人

(4) 京都文化プロジェクト事業

博物館資料のデジタル展示を強化するとともに、2027年の関西万博に合わせた京都文化の発信を強化するため、令和4年度は以下の事業に取り組んだ。

- ① 新選組展関連イベント用ツアー用音声ガイド機器の配備
- ② 総合展示の充実(インターネット配信、ポスター制作、関連イベントの開催、図録制作等)
- ③ 企画展示「原派 ここにあり」の広報強化充実
- ④ 未公開・修復資料等の公開等事業(平安宮跡出土考古資料の公開事業、近世町有文書・その他地域資料を用いた地域史の普及事業)
- ⑤ 文化財撮影機材等の整備と資料のデジタル化

(5) 学習普及活動

①ぶんぱく子ども教室事業

広く小中学生を対象として開催している学習普及活動。令和4年度はコロナ禍の比較的落ち着いた夏休みに、下記ワークショップを開催した。

・「祇園祭の鉦をつくろう！」

日時：7月18日(月・祝)①10:30～12:00②14:00～15:30

対象：小学校4～6年生

参加費：無料(保護者の方は総合展示入場料500円)

参加人数：①19名②17名(保護者、兄弟含む)

②博物館実習の受け入れ

武庫川女子大学ほか計10大学の学生10人を対象に、8月22～26日の日程で実習を実施した。

(6) 調査研究活動

歴史、考古、民俗、美術工芸、映像の各分野で調査研究を行い、研究紀要『朱雀』第34集を刊行するとともに、総合展示、特別展示の実施と展覧会の充実に努めた。

[京都文化博物館研究紀要『朱雀』第34集]

○論考

・学校博物館の事例研究-京都府立鴨沂高等学校における展覧会- 村野正景・島田雄介

○研究ノート

・京都の盆踊りの変遷について-「洛北三祭礼図」に見る灯籠踊りの様相を中心に- 橋本章

・フィンレイソン社についての覚書 畑智子

・京都府蔵「鴨川納涼図屏風」にみる納涼 西山剛

○資料紹介

- ・流水蔦文様帷子裂ほか
- ・翻刻 原在明「臥游集」(一)

林智子
有賀茜

(7) 外部連携活動

① 京都市内 4 館連携協力協議会の活動 (京都ミュージアムズ・フォー)

今年度は学芸部会を 1 回、事務部会を 1 回開催し、以下の連携事業を実施した。

- ・連携講座の実施
- ・4 館の合同年間スケジュールの作成
- ・各館友の会会員相互割引制度の実施
- ・4 館相互割引及びスタンプラリーを実施。

② 「京都アート・クラフトマーケット」の開催

今年度は秋と春の 2 回開催。ブース数を増やし、コロナ禍には控えていた広報活動についても、紙媒体/WEB・SNS 媒体ともに注力した。Instagram フォロワー数は 2022 秋から 2023 春にかけて 300 人程増加、入場者数は秋春あわせて 30,452 人となった。

	開催日	出展数(昨年)	入場者数(昨年)
2022 秋	9/23(金)～25(日)	46 ブース(2021 秋未開催)	12,248 人(2021 秋未開催)
2023 春	3/17(金)～19(日)	59 ブース(45 ブース)	18,204 人(18,053 人)

③ 博物館を核としたパブリック空間活用イノベーションプログラム

当館を含む市内文化施設、学校、地域社会の連携を向上する事業として、「博物館を核としたパブリック空間活用イノベーションプログラム」を京都文化博物館が中核館を担う京都歴史文化施設クラスター実行委員会の事業として文化庁補助金を得て実施した。本事業の構成団体である京都府、京の三条まちづくり協議会、姉小路界隈を考える会、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、京都市生涯学習総合センター、京都市学校歴史博物館、千總文化研究所、古文化保存協会と協働し、下記の(ア)～(イ)の事業を行った。

(ア) みち資源活用事業

- ・地域定例会(毎月 1 回)、近代建築オーナーズ会議(9 月 13 日)
- ・オープンディスカッションイベント：シンポジウム(三条通の近代洋風建築-高い・魅力・エリア価値- 10 月 2 日〈参加者：約 50 名〉、写真から探る学校校舎の歴史的価値 2023 年 2 月 19 日〈参加者：31 名〉)、まちカフェ(7 月 18 日、8 月 11 日、10 月 22 日、2023 年 1 月 28 日、3 月 5 日〈参加者：各回約 30 名〉)、講演会(12 月 18 日、2023 年 1 月 15 日、2 月 25 日、3 月 12 日〈参加者：計 135 名〉)
- ・参加体験イベント：近代建築ウィーク 三条通ツアー(9 月 27 日～10 月 2 日)、社会実験(1 月 5 日・6 日、2023 年 3 月 17～19 日)、建物(校舎)活用ワークショップ(2023 年 2 月 26 日)

(イ) みちづかい可視化事業

- ・プレ展示ワークショップ(11 月 5 日・6 日、於：三条通)
- ・路上カオス展・ワークショップ(12 月 14 日～2023 年 1 月 22 日、於：京都市考古資料館)

〈参加者：1,433名〉

・野外展示ワークショップ（2023年1月21日、於：京都市考古資料館〈参加者：約50名〉）

④ 主催音楽会開催状況（別館ホール）

開催日	タイトル	参加者数
7/16(土)～17(日)	祇園祭ミュージアムコンサート ・公財)鷹山保存会囃子方のみなさまによるお囃子・鉦体験 ・箏曲生田流宮城社麗調会のみなさまによる演奏会	計600人
8/16(火)～18(木)	COOL MUSIC SPOT in The Museum of Kyoto 協力:京都市立芸術大学、京都女子大学、同志社女子大学	計950人

(8) 友の会事業

会員数は、令和4年度末現在、634人（A会員309人、グループ会員100人、B会員225人）である。

（令和3年度末、668人（A会員338人、グループ会員101人、B会員229人））

会員への博物館情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を毎月1回発行。

会員向けに特別展講演会参加枠を設定し、会員サービスに取り組んだ。

- ・新選組展2022講演会 10月2日（参加者：17名）、10月8日（11名）、10月15日（12名）
- ・知の大冒険講演会 3月21日（参加者：12名）

(9) 博物館ボランティア事業

より開かれた博物館を目指し、博物館と来館者をつなぐ役割を自主的に担うことを目的としている。

令和4年度は65名（日本語36名、英語23名、その他言語6名）が在籍し、2階総合展示室「京の歴史ゾーン」にて、来館者への案内、解説、誘導、監視等の活動を行った。

活動にあたっては、研修等を充実させることにより、スタッフの資質とやりがいの向上に努めた。

○令和4年度の活動実績

- ・総合展示担当学芸員による、ボランティア研修 16回
- ・第11期ボランティアの委嘱式（令和4年6月4日）

(10) 京都府立京都学・歴彩館展示

開催日	展覧会名
9月17日～11月6日	「中井貞次と井俣慶人」
2023年1月14日～3月5日	「いけばなを極める」

Ⅲ 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール

1 管理運営業務

「文化芸術会館」及び「府民ホール」については、指定管理者「創」として締結した京都府との協定に基づき管理運営を行った。（文芸会館指定管理期間：令和2年4月から令和5年3月までの期間 3年間、府民ホール指定管理期間：令和2年4月から令和7年3月までの期間 5年間）

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染対策に伴う臨時休館等の活動の制限はなかったが、来館者の感染防止のための手指消毒や検温、マスクの着用等は継続して実施するとともに、ウェブ配信事業に取り組んだ。また、引き続き両館の人的資源の有効活用や、株式会社コングレの持つ民間事業者の弾力的・機動的な運営能力を活かし、財団の目的に沿った京都文化の豊かな創造、発展に寄与した。

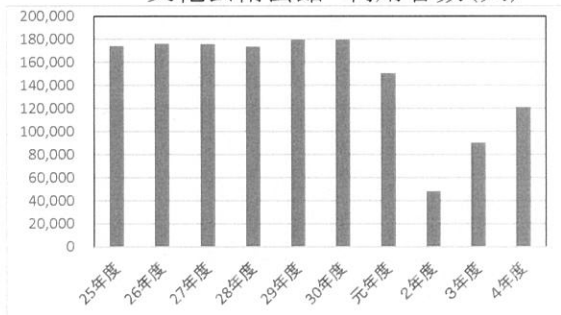
施設利用状況は、両館ともホール等の利用率はおおむねコロナ禍以前の水準に回復したものの、来場者数はコロナ禍以前の60%程度にとどまっており、高齢者層を中心に利用が戻っていない。

施設利用状況総括表

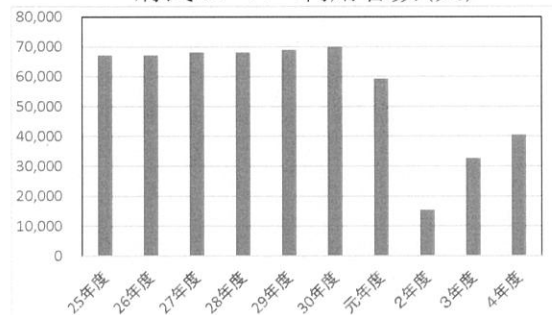
施設名	利用者数 (人)	利用率	公演回数
文化芸術会館	120,690 (前年度 89,708) *9,813,510	ホール 75.0% (73.1%) 展示室 81.6% (57.6%)	163 (160)
府民ホール	40,384 (前年度 32,543) *2,131,042	ホール 81.8% (80.8%)	180 (157)
計	161,074 (前年度 122,251) *11,944,552		

() は前年度 * は開館からの累計

文化芸術会館 利用者数(人)



府民ホール 利用者数(人)



(1) 施設利用状況（全体）

1 会館使用状況

① 京都府立文化芸術会館

施設別の利用状況については、

- ・令和4年度のホール利用状況は次のとおりであり、稼働率75.0%（3年度は73.1%）であった。
 - ・展示室は、1階 250日、2階 234日、3階 28日の利用日数であった。
 - ・年間会館入場者数は120,690人であった。
- 利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和4年4月～令和5年3月） （単位：日・回・件・人）

区 分	ホ ー ル	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
利用日数 (和室公演) <small>(会議室に分類)</small>	210	250	234	28	512	—	—
公演回数/件数	163	42	42	6	90	873	1,126
入場者数	46,985	22,519	18,127	1,183	41,829	31,876	120,690

— 参 考 —

（令和3年度入場者数） （単位：人）

区 分	ホ ー ル	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
入場者数	41,840	14,043	12,628	1,041	27,712	20,156	89,708

② 京都府立府民ホール

令和4年度のホール利用状況は次のとおりであり、稼働率は81.8%

（3年度は80.8%）であった。

年間入場者数は40,384人であった。

利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和4年4月～令和5年3月）

利用日数	229
公演回数/件数	180
入場者数	40,384

— 参 考 —

（令和3年度入場人員）

入場者数	32,543
------	--------

(2) 利用料金収入状況

施設別内訳は、次表のとおりである。

① 京都府立文化芸術会館

施設別	令和4年度	(参考)令和3年度
ホール使用料	9,919,100 円	10,780,900 円
展示室使用料	7,058,600 円	4,890,400 円
会議室使用料	4,598,900 円	3,085,200 円
録音室使用料	310,000 円	207,700 円
附属設備使用料	9,699,250 円	10,620,390 円
駐車場使用料	14,206,050 円	13,255,800 円
計	45,791,900 円	42,840,390 円

② 京都府立府民ホール

施設別	令和4年度	(参考)令和3年度
ホール使用料	18,026,850 円	15,862,800 円
附属設備使用料	7,845,220 円	6,536,360 円
計	25,872,070 円	22,399,160 円

2 事業実施状況

文化芸術会館

<公益目的事業>

(1) 自主(主催)事業

良質な舞台芸術の提供、新たな文化の創造、次世代のアーティストの発掘育成、府民との協働、「古典の日」の推進をコンセプトに、京都府からの委託事業に取り組むとともに、伝統芸能などの自主事業を企画・開催した。

① 京都府からの委託事業

<京都ゆかりの次世代アーティスト育成プログラム>

		催し物名	開催日	会場	入場者数
古典芸能	狂言五笑会 4回	第43回 小舞：「子の日」「幼けしたるもの」 狂言：「縄 綯」「二千石」「梟」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、鈴木実、山下守之	令和4年 5月27日	和室	70
		第44回 小舞：「貝尽し」「神鳴」「七つになる子」 狂言：「腰祈」「竹生島詣」「萩大名」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、鈴木実、山下守之	8月13日		70
		第45回 小舞：「吉の葉」「岩飛」「海道下り」 狂言：「昆布売」「栗焼」「長光」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、鈴木実、山下守之	12月25日	和室	70
		特別公演 狂言：「船渡婿」「瓜盗人」「鞆猿」 出演：五笑会メンバーほか茂山七五三、茂山千五郎、網谷正美、松本 薫、茂山あきら、丸石やすしなど茂山千五郎家総出演	令和5年 2月25日	ホール	300
	上方落語勉強会 4回	第266回 「時うどん」月亭 希遊／「蛸芝居」露の眞くまざわあかね新作 Vol.47 お題の名づけ親はあなたです その128 桂 米二 「鯉津栄之助」桂 文我／「崇徳院」桂 二乗	6月21日	和室	70
		第267回 「煮売屋」桂八十助／「二人癖」林家染八／くまざわあかね新作 Vol.48 お題の名づけ親はあなたです その129 林家花丸／「足あがり」桂米二／「ねずみ」桂吉の丞	9月8日		70
		特別公演 《発足五十周年&桂米二世話人就任二十周年記念！》 「子ほめ」桂米輝／「格気の独楽」桂歌之助 小佐田定雄作「月に群雲」笑福亭松喬/トーク&解説 桂米二、小佐田定雄、くまざわあかね /ゲスト 三笑会 狂言「口真似」網谷正美、丸石やすし、松本薫/「皿屋敷」桂米二	11月26日	ホール	280
		第268回 「蜜柑屋」桂九寿玉／「近江八景」桂米二 小佐田定雄新作 Vol.104 お題の名づけ親はあなたです その130 笑福亭生寿／ 「天王寺詣り」桂坊枝／「軒付け」桂小鯛	令和5年 3月23日	和室	70

<「古典の日」推進プログラム>

催し物名		開催日	会場	入場者数
古典 芸能	「新春 米朝一門花形落語会」(古典芸能ワークショップ) 桂りょうば、桂二乗、桂紅雀、桂吉弥、桂米紫、桂南天	令和5年 1月5日	ホール	250

<府民との協働・参画プログラム>

催し物名		開催日	会場	入場者数
演劇	第44回Kyoto演劇フェスティバル ・U30支援プログラム「鬱憤」	7月15日 16日		280
	第44回Kyoto演劇フェスティバル 和室プログラム ・みかんの木文庫 「とびだせおはなし」 ・京都放送劇団 「いろいろ小町」 ・ごちゃまぜMINIシアターズ「ごちゃまぜMINIシアター」 ホールプログラム ・創造集団アノニム 「お勢、登場」 ・劇団そら 「ひとり足りませんが・・・?」 ・ひとり人形劇まる 「花さかじじい」ほか ・シニア劇団 星組 「きらきらひかるこの世の星よ」 ・ちゃんばらCULB喜怒哀楽 「大正 浅草ラブソディ」 ・朗読 彩の会 「安珍清姫伝説のまことは?」 ・劇団ひいふうみい「ひいふうみい語りの世界『曾根崎心中』より」 ・児童劇団やまびこ座 「三びきのガラヤン」 & 和太鼓 ・宇治っ子朗読劇団☆Genji 「夢まくらに鳴くちどり」	令和5年 2月11日 ～12日 15日 18日 ～19日	和室 ホール	4,196

② 自主事業

<優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供>

催し物名		開催日	会場	入場者数
演劇	北部演劇活性化プログラム 第25回 きょうと北部演劇まつり 網谷正美・島田洋海 狂言「仏師」、子ども太鼓疾風 他 ※京都府中丹文化事業団・きょうと北部演劇まつり実行委員会との共催	9月4日	福知山市	180
	イッセー尾形の一人芝居「妄ソ〜劇場」その6 2022 in京都 「サギ防止留守電」「墓参り」「喫煙室」「高校生」 「お世話係り」「雪子の冒険」「シンガー70」	9月23日 ～25日	ホール	1,141 (3回)
古典 芸能	文楽京都公演 「万歳」「鷺娘」「冥途の飛脚」/「団子売」「菅原伝授手習鑑」	令和5年 3月17日 18日	ホール	1,420 (4回)

京都三曲協会 邦楽（箏・三絃・尺八）を楽しむ会	6月22日	和室	280 (4回)
	9月21日 12月14日 3月15日		

文化芸術会館 受託・自主事業合計数

	公演数	入場者数
受託・自主事業 合計	28	8,747
前年同期計	18	3,453
増減差	10	5,297

(2) 会館の運営事業

会館の備えるホール、和室、展示室及び会議室の各施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等の実施と交流のために使用する利用者に貸与した。

(3) 友の会事業

友の会会員に対し、昨年と同様に、自主事業の定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供したが、新型コロナウイルス感染症のまん延により事業の中止や、貸館公演のチケット販売の休止を余儀なくされ、会員数は昨年より少し減少した。

会員数 令和4年度末 280人
(令和3年度末 285人)

<収益事業>

(1) 公益目的外貸与事業

①ホール、和室及び展示室の使用のうち、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供等の公益目的以外の興行性の高い利用者の使用に貸与した。

②会議室使用のうち、民間事業者等の学術的利用のための使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

	貸与日数	公演等数	入場者数
ホール	17	19	6,787
会議室	95	95	3,140

(2) 駐車場事業

来館者等の利便のため附属駐車場を運営した。

2 事業実施状況

府民ホール

<公益目的事業>

(1) 自主（主催）事業

京都府からの委託事業及び自主事業を、高い芸術性と趣向を凝らしたおもてなしを提供する「ALTI 未来時間」のコンセプトのもと、新しい舞台芸術の発信・創造、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する音楽、演劇、舞踊等の公演として企画・実施した。

①京都府受託事業

<アーティスト育成プログラム>

(次世代の育成)

	催し物名	開催日	会場	入場者数
音楽	石上真由子 ヴァイオリンリサイタル	令和4年 7月24日	ホール	233
	アルティ版 地蔵盆コンサート	令和4年 8月20日	ホール	394 (2部構成)
	若手気鋭演奏家による夢の響演 黒川侑・佐藤晴真・阪田知樹 ピアノトリオVol.3	令和4年 12月10日	ホール	337
音楽劇	創作音楽劇 「遠くに街が見える」	令和5年 3月18日 3月19日	ホール	573 (2回公演)

<新しい舞台芸術の創造・発信プログラム>

	催し物名	開催日	会場	入場者数
音楽	上森祥平 バッハ×ブリテン無伴奏チェロ組曲全曲演奏会	令和4年 7月9日	ホール	477 (2部構成)
	京都アルティ弦楽四重奏団 曲目：モーツァルト 弦楽四重奏曲第19番 ハ長調K465「不協和音」 ほか	令和4年 10月15日	ホール	311
	ヤン・ラングレン×ハクエイ・キム 2台のピアノによるジャズコンサート	令和4年 11月3日	ホール	242
	小峰航一×上田希 デュオリサイタル	令和4年 11月26日	ホール	107

チェロアンサンブルの愉しみ トップチェリストによる珠玉のアンサンブル	令和5年 3月11日	ホール	385
---------------------------------------	---------------	-----	-----

②自主事業

<新しい舞台芸術の創造・発信プログラム>

	催し物名	開催日	会場	入場者数
演劇	加藤健一事務所創立40周年 加藤健一役者人生50周年 記念公演 「サンシャインボーイズ」	令和4年 5月3日 5月4日	ホール	489 (2回公演)
	加藤健一事務所公演第2弾 「夏の盛りの蟬のように」	令和4年 12月24日 12月25日	ホール	493 (2回公演)

<京都から国際的な舞台芸術の発信プログラム>

	催し物名	開催日	会場	入場者数
音楽	アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2022	令和4年 7月16日 7月17日	ホール	445 (2日公演)

	入場者数
受託・自主事業 合計	4,486
前年	2,886
増減	1,600

(2) ホールの運営事業

ホールの施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等のために使用する利用者に貸与した。

(3) 友の会事業

友の会（アルティ・メイト）会員に対し、定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供しホール利用を促進するとともに、特典の充実と窓口での入会案内の強化により会員の拡大に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
会員数	549	519	401	419	448

<収益事業>

(1) 京都府公館の管理事業

府民ホールとの合築になっている京都府公館を、府との委託契約に基づき管理した。

(2) 公益目的外貸与事業

ホールの使用のうち未利用日等について、優れた文化芸術活動の場の提供等の公益目的事業以外の興行性の高い利用者や京都府主催行事の使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

貸与日数	公演数	入場者数
18	16	4,740

3 美術工芸振興基金事業

(1) 京都府出えん金

昭和63年度	79,000,000 円
--------	--------------

(2) 基金運用事業

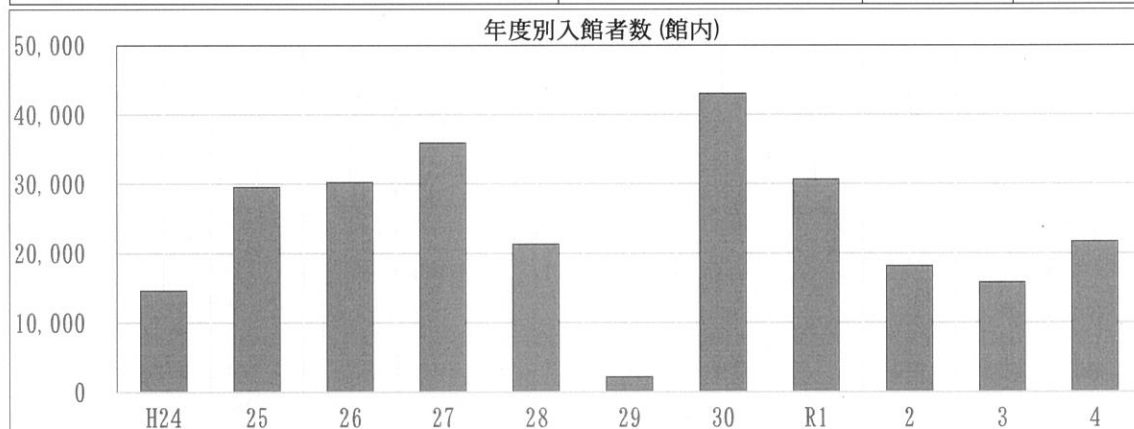
基金の果実を財源として、美術・工芸界でユニークな創造活動を行う作家を対象とした『企画展』を開催してきたが、利息の減収等により事業資金が不十分な現状となっている。そういった中で、令和4年度においては、令和5年度以降に向け果実を積み上げた。

IV 京都府立堂本印象美術館

1 管理運営業務

(1) 展覧会事業

展覧会名	主催者・出展者	開催期間	入場者数	一日平均
包むを彩る ふろしきデザインの美	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	4月6日～6月12日 60日間	4,580人	76人
第5回野外彫刻展	京都府 京都彫刻家協会 堂本印象美術館	4月6日～6月12日 60日間	(2,656人)	(44人)
旅する印象 画家が見つめた、 ひと・町・自然	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	6月25日～9月25日 72日間	4,482人	62人
山口華揚 いのちに心をよせて	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	10月8日～11月23日 40日間	7,906人	198人
第3回野外 工芸美術作家展	京都府 堂本印象美術館 京都工芸美術作家協会	10月8日～11月23日 40日間	(1,863人)	(47人)
音のハーモニー 印象が奏でる風景	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	12月17日～3月26日 79日間	4,723人	60人
第4回野外いけばな展	京都府 京都新世代いけばな展 運営・実行委員会 堂本印象美術館	2月23日～2月26日 4日間	(1,246人)	(312人)
令和4年度開館日数(延べ) 355日		※()は野外展を含む人数 合計	21,691人 (27,456人)	61人 (77人)



年度	H14	15	16	17	18	19	20	21
入館者数	14,207	15,118	13,085	12,433	14,876	27,064	21,804	19,926
年度	22	23	24	25	26	27	28	29
入館者数	12,842	14,861	14,606	29,563	30,249	35,927	21,341	2,228
年度	30	R1	2	3	4	累計		
入館者数	43,082	30,697	18,216	15,857	21,691	657,934		

※平成18年度～平成23年度の指定管理者は学校法人立命館

2 事業実施状況

(1) 学習普及事業

事業名	実施日・実施期間 ※順不同	概要	延べ 参加者数
立命館大学連携授業 現代社会と ボランティア	4月1日～8月2日 (3回)	美術館の広報記事、ミュージアム ショップ用ポップ作成作業、備品 整備などのボランティアを企画 し、受け入れた。	210人
立命館大学連携授業 教養ゼミ	4月1日～8月2日 (6回)	学生企画による美術館の紹介動画 の作成をサポートし、動画を館内 で放映した。	60人
立命館大学連携授業 シチズンシップ・ スタディーズ	9月26日～1月31日 (12回)	職員と学生が共同で美術館の広報 計画の企画から実施までを実施し た。活動事例を京都、滋賀、大阪 の3キャンパス合同の報告会で発 表した。	120人
京都市立蜂ヶ丘中学校 協力授業 チャレンジ体験	9月6日～9月8日 (3回)	美術館業務の体験学習に協力し、 受付、監視、広報、SNS発信、来 館者対応などの機会を提供した。	16人
包むを彩る連携企画 ふろしき包み体験	5月15日 8月22日	「包むを彩る」展にあわせてふろ しきの解説、包み方の体験講座を 開催した。	19人
音のハーモニー連携企画 ワークシート体験	1月14日～3月26日	「音のハーモニー」展にあわせて 幼年者向けに展示作品に関するク イズを取り入れたワークシートを 配布した。	950人
ギャラリートーク	7月16日, 8月14日 10月29日, 11月3日 12月25日, 3月18日	当館学芸員による作品解説を来館 者に実施した。	124人
合計			1,499人

(2) 地域連携・文化観光推進事業

事業名	実施日・実施期間 ※順不同	概要	延べ 参加者数
関西広域連合 連携企画 関西文化の日	11月4日	関西一円の美術館、博物館と協力 して入館料を無料とし、普段美術 館に親しみのない人々へ芸術体験 の機会を提供した。	268人
京都歴史回廊協議会 連携企画 仁和寺の建物探訪と 堂本印象の襖絵鑑賞会	1月21日	地元団体と協同で堂本印象の襖絵 が所蔵されている仁和寺の探訪と 文化財保護の有識者による解説会 を開催した。	35人
京都市内博物館施設 連絡協議会連携企画 第26回京都 ミュージアムロード	1月25日～3月19日	京都市および京都市内の美術館、 博物館と連携してスタンプラリ ー、グッズの頒布を行い、各施設 館の広報、来館促進に協力した。	554人
合計			857人

- ・ きぬかけの路推進協議会、京都歴史回廊協議会との連携
堂本印象の襖絵を持つ世界遺産・仁和寺の建物探訪などを共同で開催し、地域の文化観光の振興に協力した。
- ・ 今出川通・日本画茶の湯美術館連絡会との連携
『京都・今出川通の美術館だより』（季刊誌）を年4回共同発行した。
構成館 堂本印象美術館、橋本関雪記念館、北村美術館、樂美術館、茶道資料館

（3）友の会事業

平成25年3月に募集を開始し、現在の会員数は個人31、団体1。
会員から会費にて美術館の活動を支援頂きながら、展覧会の無料入館などのサービスを提供した。

（4）美術館ボランティア事業

平成25年4月に結成した堂本印象美術館ボランティアのメンバーをリニューアルオープンに合わせて新たに募集し、来館者への説明や各自主事業などへのスタッフとしての参加等、美術館運営に得難い力となっている。現在、34名在籍。

（5）調査・研究事業

堂本印象の作品及び関連資料の調査、研究に基づき展覧会を企画・実施。さらに京都ゆかりの日本画家の特別企画展を企画・実施し、図録等において、その成果を広く公開した。山口華楊展の図録（1,000部作成）は完売した。



図録「山口華楊」（完売）